

水野先生、こんにちは。

朝、晩すっかり冷えようになりましたね。

去年の今頃は、復学后体調をくずすことがあり、ひやひやいやから毎日朝送りたすの外、楽しかったことを思い出します。

支援を受けて、一年回ヶ月、娘が復学して行ってらっしゃい。を当たり前のように毎日言える日々が来るなんて以前は夢にも思えませんでした。

今、振り返ると長い道のりでした。

娘はもともと元気で活発な子でしたが、一人っ子であり、私の心配性の性格もあり、手出し、口出し先回りの子。育ててを日常としていました。

娘は些細な事でも自分で考え行動することには臆病になり、私に何でも聞いてくるようになりました。

そんな娘になせ自分で考えたいんだろ、なせ周りの人たちが

と上手く関わりたいんだ？うと他のお子さんと比較し、責める  
気持ちや情けなさを感じていました。

子供から経験を奪い、自尊心を低くしてしまっただのは親  
であり自分という事に気付くもせずには。

小学生になり、春の運動会が終った頃、突然学校をんて  
まらいいと言いはじめました。そんな娘を説得し、学校に向か  
わせることに必死になりました。登下校の付き添い、授業  
の付き添い。二年生では授業は一人で受けられるようになった。  
ものの、登下校の付き添いは続けていました。

三年生になり、五月雨登校から夏休み前には不登校。その後  
放課後だけ登校する形になっていました。

スクールカウンセリング、教育相談など通うことになりましたが  
様子を見る、見守ることや基本なので、変化の早い焦りと  
不安の日々でした。

心も体も大きく変化する高学年を目前にほんとにしたいと

「う私の気持は強まりました。」

娘自身の「学校には行きたーい、たーい、行けーい、不安」という思いをなんとか救いたーい、という思いでいっけーい、でした。

その頃は娘の反発も強く、お互い感情的にぶつかり合う毎日でした。

そんな時、インターネットで模索しているときに「ペマレニツキ」の存在を知ったのです。

親の過保護、過干渉が不登校の原因？「ホームページで紹介された」親御さんの体験を読ませ、我家と同じ状況を知り、水野先生の著書を買って講入し、読んだ時は、目からうろこでした。

問題解決支援コースを受けようことを決意してからは自分との戦い、知りました。

親は、口出し、手出しは「ない」、親の立場を上げろ、家庭を冷ます行動、私自身も穏やかに話す、顔をこちらと見て

話すなど。今までと真逆の行動。我家に欠けていた事への取組でした。私も感情のコントロールをしながらの対応に初めは苦戦していました。

最初の変化はお風呂やトイレで一人で行けるようになった。自然と自分から行動するようになったことです。

過干渉を減らすため意識的に数時間家を空けることにしました。時は何回も携帯に電話がかかってくることもしばしばでした。だんだん落ち着いてきました。

私の一言にすべて否定的にとらえ感情的になっていた会話もアクティブリスニング・マイメッセ・ジで少くすく乗り越えました。

放課後登校はいつか行けるようになるかと続けています。いた。一切断ち切り完全不登校の状態にしました。

私も不登校になりました。復学を果す時、中途半端な状況や動機づけを低くし、足を引っ張ることにする。このことは本当に実感して納得させられました。

娘に責められ山に叶折山やうになつた時は水野先生の励ましに本当に救われまゝした。有りかとうございまして。

私や苦しむ時は娘ももつと苦んでいたと今、いふと思ひます。

登校刺激から登校日まで一ヶ月は本当に目まぐるしい日々でした。

夏休み前から何度も足を運んでくださり登校日まで娘を励まし力になつてくださったカウニセウーの先生、メニタルフレンドの皆さんにはどんなに支えられたことでしょうか。本当に感謝でした。

登校日を果たして一ヶ月は体調を崩し、休む日も多くなりましたが、その後は一回も休まず、現存に至ります。

学校で嫌なことがあつたと以前はいつまでも吐きまわつていました。今は話すことで落ち着き、自分から話題を変えたりできるようになりました。しかし、もともと自己評価が低く

ネガティブ思考なので、どんな性格か足をひねることも多々...と思います  
が、色々な経験を積み出す。そこから多くのことを学んでいってほしい  
と思います。私自身も左...心で見守り、受け止めていける  
親をめざりたいと思います。

幼稚園の頃から、少くとも休調がおか...と休むことを考え、  
私も休ませていた。当時を振り返ると不思議に思います。  
子供によいか...と思ってやっていたことは、過保護や過干渉  
の何物でもなく、自己満足であった。たとえ振り返ると思います。  
子を育てるのには、経験、親の愛情、食事と水野先生は  
教えてくださいます。今、本当に実感します。

今までの過干渉があつて今があること、志しすに前を  
見ていきます。

今後は、家庭教育支援コースでは、後戻り...ように  
自分を引き締める目的もあります。楽しんで取り組んで  
いきたいと思います。

娘の不登校を通し、水野先生をはじめ、

さん、様々な方々との出会いに本当に感謝します。

お世話になりました。

次回、お会いするときは、親子の成長ぶりをお話できる  
ように肩肘張らずに頑張ります。

取りかとうごさいます。

お身体には気を付けて今後も街活躍下さい。